

グループ全職員のみなさまへ

## 921台湾大震災に対する 災害医療協力報告(10/9)

本日10月9日朝の時点での台湾で活動中のTDMAT(徳洲会災害医療協力隊)メンバーの活動の報告と今日の予定をごいたします。みなさん怪我もなく無事に活動しています。

### TDMAT(徳洲会災害医療協力隊)の行動

#### お知らせ事項

大きく診療班にかわりはありませんが、東勢国民小学校以外は診療者数が減っています

#### 【ベースキャンプは快適になりました】

長庚病院ベースキャンプの元マクドナルドのビルから徒歩10分ほどの老人福利施設の新しいTDMATベースキャンプは快適です。やはり狭いテントでの雨風をしのぎながら行う医療協力は限界があるのでしょうか。今後の反省として、隊員の居住環境の構築が必須です。

#### 【徐、青木先生復帰】

青木先生は10/7に、徐先生は10/8に再び台湾に入国され、それぞれ林口での指揮、ベースキャンプでの統括との役目を負っていただくことになりました。

#### 【10/8の帰国メンバー無事帰国】

田川、津畑、岩澤、小泉、高山の5名の隊員が  
10/8 16:25(現地時間)台北発中華航空便で無事帰国されました。

10/10には清水、栗間、斎藤、亀山、鈴木、萩原、宮島、吉各隊員が帰国予定です。

10/11には小芝、村井各隊員が帰国予定です。

帰国予定は当初から2週間以上としてお願いしているものを現地と所属病院の事情を合わせて本人の希望のもとに決めています。

帰国された隊員のみなさんには、1.報告書の提出、2.写真などの資料の提出、3.所属病院での報告会の開催、4.学会報告準備をかねた全体の総括報告会の開催への出席、の4点をお願いしております。

#### 【撤退時期と事務局の台湾入り】

撤退時期は10/17に決定し、これ以上のメンバーの派遣はしません。

現地ベースキャンプ引き上げ、メンバーのローテーションなど最終の指揮系統の引継のため、10/8朝、中村燈喜が、同日夜橋爪慶人が長庚記念病院に入りました。

したがって、本部事務局は常設秘書の富岡加代子さん一人となります。

電子メール、web上の報告などが少し滞ると思いますが、ご了承下さい。

## 10月7日の各班の行動予定

### 第A班 休息日 (林口長庚記念病院へ)

青木 重憲	医師	茅ヶ崎	
劉 孟娟	医師	名瀬	
松元 陽一	医師(小児科)	岸和田	
山崎 宏和	看護師	大和	
浦里 博史	看護師	神戸	5名

### 第B班 旧814陸軍病院跡地診療所 (仮説住宅)

清水 徹郎	医師	札幌	
小芝 章剛	医師	札幌東	
栗間 孝之	看護師	札幌	
財 紀代	看護婦	鹿児島	
倉田 真紀子	看護婦	札幌東	
荻原 省武	薬剤師	福岡	6名 その他現地通訳 2名

### 第C班 東勢国民小学校避難所派遣

竹内 克彦	医師(内科)	大和	
天野 知徳	医師	宇治	
栗岡 宏彰	医師	宇治	
亀山 賢司	薬剤師	鎌倉	
野沢 敏昭	看護師	鎌倉	
宮島 康彰	看護師	八尾	6名 その他現地通訳 2名

### 第D班 新盛国民小学校避難所 石城国民小学校避難所

阿部 好弘	医師	鹿児島	
村井 政史	医師	鎌倉	
近藤 芳憲	看護師	鎌倉	
根笹 智江	看護婦	札幌東	
張 羣	薬剤師	中部	5名 その他現地通訳 2名

### 第E班 東勢国民中学校ベースキャンプ

橋爪 慶人	医師	岸和田	
吉 紀三	看護師	名瀬	
斉藤 喜博	ME	札幌	
鈴木 論貴	放射線技師	千葉西	
渡辺 英樹	ME	鎌倉	

### 第F班 巡回診療

中村 燈喜	医師	宇治	
徐 嘉英	医師	羽生	
田原 代志枝	看護婦	千葉西(コーディネート業務)	

**事務局便り:** 一番の心配は隊員の怪我や病気です。こういう災害援助はまず自分たちの体を守ってこそです。隊員の中には疲れがでている方も多いため気をつけなければなりません。